

集約で整える よりよい保育環境



こども園の集約は、次のように、よりよい保育環境の構築につながります。

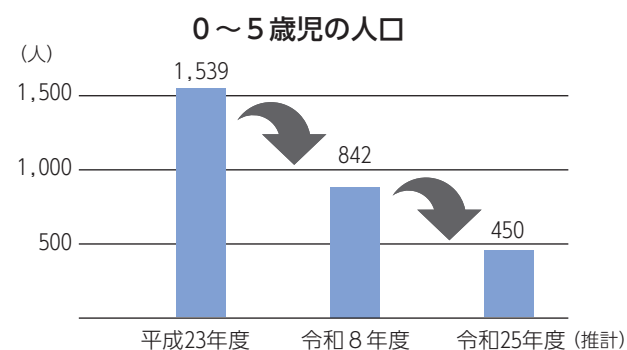
こども園を集約

- ①適正規模の確保
友達と関わる機会が増えます
- ②保育士の専門性向上
専門職の連携で質が高まります
- ③安全・安心な施設環境
安全な保育環境を確保します
- ④教育・保育内容の充実
こども園の体制を充実させます

少子化と集約の判断基準

町の子どもの数が、約 **7** 割も減少

子どもの数に見合った園の規模を保つことが、年々難しくなっています。



集約を **3** つの基準で判断 (令和7年度策定)

町内のすべての園に同じ「ものさし」をあてて、客観的に判断



※いずれか1つでも当てはまる園は、集約を検討することとなります。

策定した3つの基準すべてに**岩手こども園**が該当 こうした状況をふまえて検討を進めた結果…

令和9年度末(令和10年3月末)をもって閉園します

閉園にむけて

在園のお子さんと保護者のみなさんが安心して新しい園生活へ移れるよう、丁寧に準備を進めています。

説明会を開催しました



保護者のみなさん(7月)と地域住民のみなさん(8月)に説明会を開催し、これまでの経緯や今後の対応について説明し、ご意見を伺いました。

個別の相談を受付けます



ご心配な点は、子育て推進課の窓口で転園先など個別のご相談を承っています。

！ 在園のお子さんの転園について

在園のお子さんの転園先は、保護者のみなさんのご希望を伺いながら調整します。発達や健康状態、食物アレルギーなど配慮が必要なお子さんについても、一人ひとりの状況に応じて丁寧に対応していきます。



特集

子どもたちの よりよい育ちのために

～こども園の集約について～

☎ 子育て推進課 子育て支援係 ☎22-7507

全国的に子どもの数が減るなか、垂井町でも0～5歳の子どもは大きく減っています。これからも安心して質の高い保育を続けるため、「こども園の集約に関する判断基準」を定めました。

今回は、その背景と考え方、そして岩手こども園の今後についてお知らせします。

安心して過ごす園へ

園の規模が大きくなることで、担任のほかに保育士や看護師などの配置が充実します。専門の職員が連携して、一人ひとりの育ちや健康を見守ることができるようになります。子どもたちが健やかに成長でき、保護者が子育てに喜びを感じることができるようまちづくりを進めていきます。

なぜ、いま集約を進めるのか
人口減少の時代に、まちのあり方を人のあり方にあわせていくことが、まちづくり全体の課題となっています。子育ての場においても、子どもの数に見合った規模を保ちながら、安定した保育を続けられるように整えていく必要があります。
園を集約することで、より多くの友達と集団で過ごす機会が増え、子ども同士が互いに刺激し合い、育ち合う環境を整えることができます。集約は、施設を減らすことが目的ではなく、子どもたちにとってより良い保育環境を整えるための取組です。